

今秋のクマ出没予測について

(1) クマの主要な餌となる堅果類の結実状況

・ 県全体の堅果類の結実状況は、ブナが豊作、ミズナラが不作、コナラが並作であった。

堅果類調査結果の概要（県自然保護センター調べ）

調査期間:令和 8 年 8 月 9 日～9 月 2 日(うち 12 日間)

樹種(生育地)	調査規模	密に着果した 個体の割合	判定	密に着果した個体の割合による 判定基準(水谷ら 2025)
ブナ(高標高)	14地点、280本	42.1%	豊作	豊作≧30%>並作≧ 5%>不作
ミズナラ(高標高)	16地点、320本	7.5%	不作	豊作≧30%>並作≧10%>不作
コナラ(低標高)	14地点、267本	23.2%	並作	豊作≧25%>並作≧10%>不作

堅果類の結実状況とクマの出没件数

樹種		R8	●R7	R6	●R5	R4	R3	●R2	●R1
ブナ		豊作	不作	不作	不作	並作	並作	不作	不作
ミズナラ		不作	不作	並作	不作	並作	不作	不作	不作
コナラ		並作	豊作	並作	並作	豊作	並作	不作	不作
出没件数 【人身被害 件数】	4～8月	440	382 【1】	554	232	220	265 【1】	386 【2】	313
	9～3月	-	568 【2】	343	534 【2】	94	138 【1】	837 【10】	601 【9】
	通 年	440	950 【3】	897	766 【2】	314	403 【2】	1223 【12】	914 【9】

●秋の大量出没年(←ブナ、ミズナラがそろって不作の年)

(2) 秋の出没予測

- ・ クマの秋の主要な餌のひとつであるブナの結実状況は、過去の大量出没年と比較すると良好であり、餌資源量の観点からは、大量出没が発生する可能性は低いと判断される。
- ・ 一方で、人の生活圏周辺の里山に生息しているクマが、餌を求めて出没する恐れがあり、警戒が必要である。